



# バイオジェンとエーザイが臨床第III相試験進行中の Aducanumabを含むアルツハイマー病治療剤の 開発・販売に向けた提携契約を拡大

エーザイ メディア・投資家 説明会  
エーザイ株式会社  
2017年10月24日

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# 骨子

**Aducanumabの共同開発・共同販促の  
オプション権を行使した**

**Aducanumabについて各地域での  
それぞれが有する強みを活かすことを目的として、  
地域別利益配分を調整した**

**日本において、多発性硬化症治療薬について、  
現在バイオジェンが訪問していない施設に対する  
共同販促を行う**

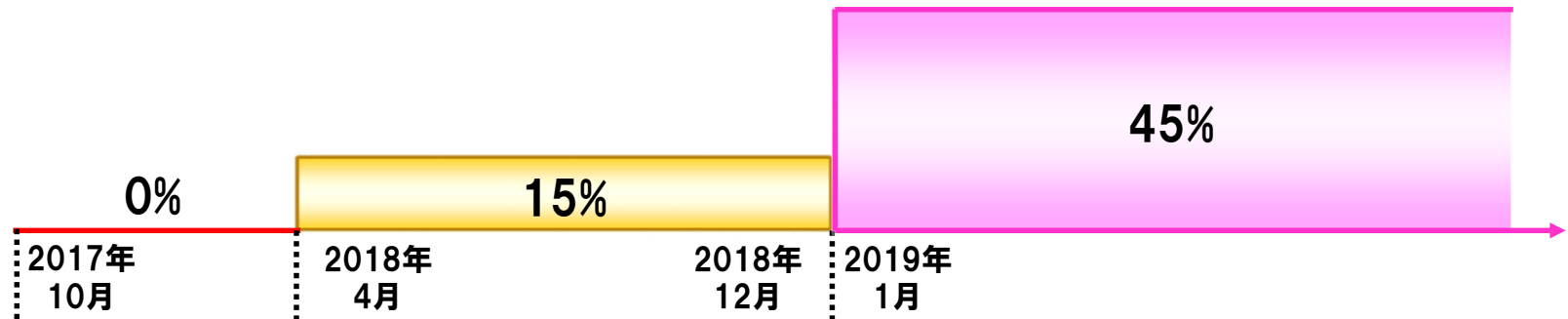
# 研究開発費の分担

## 研究開発費の分担に関する新たな合意

2018年4月よりAducanumabの研究開発費の分担を開始  
2018年12月末まで15%、2019年1月から45%を分担

AducanumabおよびBAN2401に関する両社のマイルストンの支払いは撤廃  
オプション権行使に伴う一時金の支払いはない

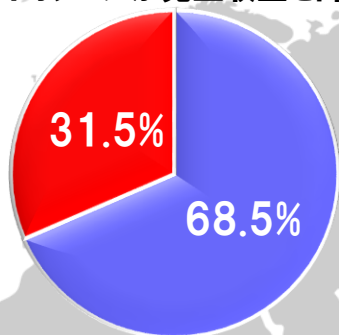
新契約に基づくエーザイの研究開発費分担比率



# 地域別利益配分

## 欧州

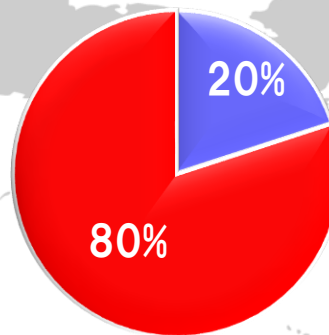
(バイオジェンが売上収益を計上)



## 日本・アジア

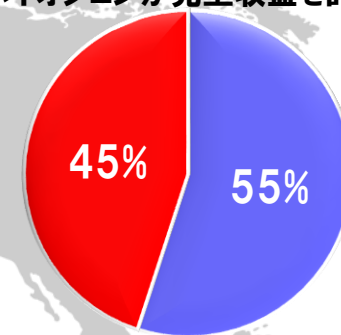
(中国、韓国を除く)

(エーザイが売上収益を計上)



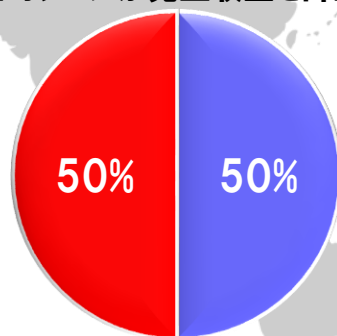
## 米国

(バイオジェンが売上収益を計上)



## ROW\*

(バイオジェンが売上収益を計上)



各地域における両社の強みと  
ビジネス基盤を最大限に活かす

 エーザイへの利益配分率

 バイオジェンへの利益配分率

\* Rest of the world: 中国、韓国、オセアニア、ロシアを含む

# 多発性硬化症(MS)領域での提携

アボネックス、タイサブリ、テクフィデラの  
共同販促に係る権利\*を得る

日本での  
新たな提携

**AVONEX**<sup>®</sup>  
(interferón beta-1a)

**TYSABRI**<sup>®</sup>  
(natalizumab)

 **Tecfidera**<sup>™</sup>  
(dimethyl fumarate) delayed-release capsules

 **plegridy**<sup>™</sup>  
(peginterferon beta-1a)

アジア(中国を除く)での  
新たな提携

アボネックス、タイサブリ、テクフィデラ、plegridyの  
独占的販売権を得、売上を計上

両社の強みを活かし多発性硬化症の患者様貢献をめざす

# 狙い

**ポテンシャルに世界初の次世代AD治療薬となりうる  
Aducanumabの開発を成功に導く**

**A $\beta$ 仮説に基づく次世代三候補品の同時開発を追究する**

**両社のフルコミットメントにより、  
医療・社会環境整備の諸課題に取り組む**